



Bank of Japan Oita Branch

大分県内の景気動向

大分県内の景気は、回復のペースが鈍化している。

個人消費は、全体として底堅く推移しているが、家計マインドに弱さがみられている。観光は、基調としては堅調に推移しているが、このところ弱めの動きがみられている。住宅投資は、減少している。公共投資は、高めの水準で推移している。設備投資は、高水準で推移している。

鉱工業生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

短観における企業の業況感は、このところ悪化している。

金融面をみると、4月の実質預金(NCD含む)は、前年を上回った。4月の貸出金は、前年を上回った。3月の貸出約定平均金利は、前月を上回った。4月の企業倒産は、件数・負債総額ともに前年を下回った。

消費者物価指数(大分市、生鮮食品を除く総合、5月)の前年比は、1%台半ばとなった。

先行きについては、物価と賃金、海外経済の動向、さらには中東情勢の展開等が、家計の消費マインドおよび企業の収益や経営行動に与える影響等を注視していく必要がある。

本資料は当店ホームページにも掲載しています。

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>



〈本件に関するお問い合わせ先〉

日本銀行大分支店総務課

(TEL : 097-533-9106)

(FAX : 097-538-7085)

〈 景気判断の比較 〉

	前回(2026年6月)	今回(2026年7月)
景気全体 (引き下げ)	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。	<u>回復のペースが鈍化している。</u>
個人消費 (引き下げ)	底堅く推移している。	<u>全体として底堅く推移しているが、家計マインドに弱さがみられている。</u>
観光 (引き下げ)	堅調に推移している。	<u>基調としては堅調に推移しているが、このところ弱めの動きがみられている。</u>
住宅投資 (据え置き)	減少している。	減少している。
公共投資 (据え置き)	高めの水準で推移している。	高めの水準で推移している。
設備投資 (据え置き)	高水準で推移している。	高水準で推移している。
鉱工業生産 (据え置き)	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用・所得 (据え置き)	緩やかに改善している。	緩やかに改善している。